



第21回例会

2024.1.17

会員 71 名中 56 名出席 出席率 78.87%  
修正 59 名出席 出席率 83.1%  
メイクアップ 3 名

クラブテーマ

「奉仕の理念を世界に向けて愛を分かち合おう」

方針

1. ローターアクトの地位向上
2. 女児のエンパワメント
3. DEIの促進
4. ポリオ根絶
5. ローター行動計画の実施

例会場：クーラクーリアンテサンパレス 福島市上町 4-30 / 開催日：毎週水曜日 12 時 30 分

◆会長挨拶 菅野 良二 会長



会長挨拶をさせていただきます。

今年の元旦に能登半島地震が発生しました。死者、行方不明者 244 名、負傷者 1015 名、住宅被害、全壊、半壊、一部損壊合わせて 12,432 棟と甚大な被害が出ており今でも行方不明者の捜索が続いており当クラブとしても早急に義援金、義援物資等を踏まえ国際ロータリー第 2530 地区と一緒に頑張って行っていききたいと思いガバナー事務所に連絡して方針を固めて敏速に行っていきますので皆様にも是非ご協力を頂きたく思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

令和 6 年能登半島地震 緊急支援募金箱を用意させて頂きましたので皆さん宜しくお願い申し上げます。

私たちは 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災が起こり日本中、いや世界中の国々から救助隊支援、緊急支援物資、義援金等を沢山の国々、方々から支援して頂いたことを思い出して頂きたく思っております。

今回、隣国、台湾ではどこの国よりも早く 160 名の救助隊支援の申し出がありました。今回、台湾が開設の寄付金口座に民間の皆さんから 1 月 11 日現在総額 14 億円超になったとのこと。台湾からは、東日本大震災の際、国、民間人などから約 253 億円もの義援金、支援金が送られたことが、いまでも日本人の脳裏に強く焼きついており、その後も、福島県など被災地と台湾との日台交流は続いています。

今回の能登半島地震では呉ショウショウ外交部長(外務大臣)は「日本は台湾人が大好きな国。日本と台湾は最も助けが必要とされるときに手を差し伸べてきた家族のような関係だ。被災した人々が一日も早く苦境から脱して、正常な生活を取り戻すことを願っていると述べ、日本語で「日本、がんばれ」と激励しました。

国は別でも違いに助け合う気持ちがあれば永遠な平和な国々と交流が出来ると思っております。3 月 6 日(水曜日)は台湾から 20 名のロータリアン(台湾の経済界の方々)が当クラブにメイキャップしたいとのことでしたが 20 名の方々は台湾の 8 つのロータリークラブの皆様で当クラブではなく第一分区事業としホストは当クラブ担当で会場はエルティーで夜間歓迎会が開催されることになりましたので当クラブからもより多くの方々が参加され台湾のロータリアン(経済界の方々)と交流されることをご期待申し上げまして会長挨拶とさせていただきます。



## ◆誕生祝（1月生）

1月1日生・菅野 良二 会員  
 1月1日生・渡邊 正義 会員  
 1月3日生・林 克重 会員  
 1月4日生・笠 雅樹 会員  
 1月8日生・国分 秀夫 会員  
 1月11日生・紺野 仁昭 会員

1月14日生・大橋 廣治 会員  
 1月14日生・吉田 和義 会員  
 1月17日生・小野 幸一 会員  
 1月18日生・本田 光男 会員  
 1月26日生・渡邊 和裕 会員

＜本日の昼食メニュー＞



## ◆ゲストスピーチ 福島県立医科大学・学長 竹之下 誠一 様



### 《 経 歴 》

- 福島県立医科大学 福島県立医科大学 学長・部局長 学長（理事長） 2017年4月 - 現在
- 福島県立医科大学 寄附講座 先端核医学医療講座 センター長 2017年2月 - 2017年3月
- 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 先端臨床研究センター センター長 2017年2月 - 2017年3月



私たちは、いかなる時も、いかなる分野においても最先端を切り拓く強い志と覚悟を持って、積極的に変化を起こし、それを進化に変えて、国内外における福島県立医科大学の価値と存在感を高めると共に、県民の皆様に必要な医療を必要な時、必要なだけ提供できる体制を築いてまいります。